

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 二級河川 御手洗川水系 御手洗川支川18通常砂防事業に伴う測量設計業務

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名	R1-Bor, No. 5		調査位置	堰堤上流部				北緯	34° 21' 40.9015"	
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所				調査期間	令和元年 9月30日～ 令和元年10月 2日			東経	132° 16' 21.5516"
調査業者名			主任技師			現場代理人	コ 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 313.91m	角 度 180° 上 下 0° 90° 度 0°	方 向 北 0° 270° 西 180° 南 90° 東	地盤勾配 0° 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	東邦D1-B58型			
総削孔長	12.00m					エンジン	ヤンマーNFD-12型		ポンプ	BG-3C

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験						試験採取			室内試験	削孔月日	
											N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数			50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試験番号			採取方法
													0	100	200							
												深度－N値図										
1			礫混じり砂	礫混じり砂	褐淡褐	rd3			上部草根混入。 細～中砂を主体とする。 φ2～20mmの礫を全体に20～30%程度含む。 max φ 35mm。 細粒分を全体的に少量混入する。 GL-1.45～1.90mで礫の混入量が増加し、砂礫状を呈する。	9/30 1.70		6	1.15	1	2	3	6					
2												1.45										
3	310.46	3.45											16	2.15	5	5	6	16				
4			玉石・礫混じり砂	玉石・礫混じり砂	褐灰	rd3			中砂～細砂を主体とする。 コア長10～45cmの花崗岩質の硬質な玉石を含む。 礫はφ2～75mmで亜円～亜角礫を呈する。 マトリックスは細砂～中砂を主体とし、部分的に細粒分を少量混入する。 GL-6.50～6.80m、粗砂やや優勢。				14	2.45								
5													3.15	4	5	5	14					
6													18	3.45								
7	307.11	6.80			暗褐灰									4.15	4	5	9	18				
8	306.41	7.50	粘土質砂		暗褐灰	rd2								4.45								
9	305.41	8.50	玉石・礫混じり砂		褐灰		rc3							5.15	11	39		50	160			
10	304.56	9.35	花崗岩		褐灰									5.31		60		160				
11			花崗岩	花崗岩	褐灰				細砂～中砂を主体とする。 粘土分を全体的に混入し、φ5mm以下の小礫を少量含む。 中～粗砂主体。 φ10～50mmの礫を全体に含む。 GL-7.50～7.75m間にコア長25cm程度の玉石を混入する。 礫・玉石は亜円～亜角状を呈する。 マトリックスは細砂～中砂を主体とし、部分的に細粒分を少量混入する。 強風化花崗岩。指圧で容易にボロボロになる。 GL-8.65～8.75m間に新鮮な箇所が残る。 GL-8.75m以深は特に風化が著しく、マザ状を呈す。 GW級主体。部分的にGL級。 岩片状～短柱状コアを呈す。 コア肌はややなめらかである。				10	6.65	5	3	2	10				
12	301.91	12.00																				
13														7.15								
14														7.45								
15														8.00	50			50	100			
16														8.10								
17														9.00	50			50	60			
														9.06	60			60				
														10.00	貫入不能			50	0			
														11.00	貫入不能			50	0			
														12.00	貫入不能			50	0			